

半日陰でもどんどん花を咲かせる

< 植物名 >

インパティエンス(インパチェンス)

ニューギニア・インパチェンス

ピンク

水やり

春から秋は、土の表面が常に湿っているくらいに管理。冬場は土の表面が乾いたら水を与える。

置き場所

春～秋は室内外、冬場は室内の半日陰に置く。夏は、風通しのよい場所に置く。

用土肥料

肥料は少なめに与える。特に窒素分の多い肥料を与え過ぎると、花つきが悪くなる。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

10 以上あれば冬越しする。

使い方 鉢植え、花壇

学名 Impatiens New Guinea Group

英名 New Guinea Hybrids

属名 ツリフネソウ

科名 ツリフネソウ

性状(分類) 1・2年草、多年草

原産地 ニューギニア

花の色 ピンク

開花期 初夏

購入時期

草丈

ID 236

季節 夏

JFコード 42436



冬越しと置き場所

酸性の用土と半日陰を好む。春～秋は室内外、冬場は室内の半日陰に置く。夏は、風通しのよい場所に置く。10 以上あれば冬越しする。

その他の解説

好光性種子なので、種子を蒔く場合は、覆いをしないようにする。肥料は少なめに与える。特に窒素分の多い肥料を与え過ぎると、花つきが悪くなり病害にかかりやすくなる。ナメクジもつきやすい。

特徴1

ニューギニア原産の多年草。水分を好むので、春から秋は、土の表面が常に湿っているくらいに管理。冬場は土の表面が乾いたら水を与える。

特徴2

インパチェンスの語源は「我慢できない」という意味で、仲間であるホウセンカと同じように、成熟した果実に触ると勢いよく種子を撒き散らすところから名付けられた。その中で、ニューギニア産野生種から育成された園芸品種群が「ニューギニア・インパチェンス」と呼ばれている。赤、ピンク、オレンジ、紫などの花を咲かせる。